

第 22 回長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会議事（概要）

日 時	平成 28 年 3 月 24 日（木）13：30～16：00
会 場	ステーションコンファレンス東京 602-A
出席者	専門委員 7 名
	長野広域連合 7 名
	（一財）日本環境衛生センター 1 名
	八千代エンジニアリング（株） 3 名

協議事項

（１）第 21 回委員会議事録の承認について

指摘事項を修正し了承された。

（２）最終処分場について

①現在までの経過と最終処分場施設基本計画概要について

<委員意見等>

- ・処分場の建設前に周辺の水質調査を行い、結果を住民へ説明する必要がある。
- ・放射性物質濃度の基準について、対象は放射性セシウムであり、人為的なものを測定したことを住民に説明するとともに具体的な測定法や評価方法を検討する。
- ・埋立廃棄物の質を踏まえ中間覆土の必要性及び中間覆土量によるコスト削減を検討する。

②最終処分場施設基本設計計画条件について

<委員意見等>

- ・埋立物の浸出水は高アルカリになる可能性があるため、浸出水の水質予測等で埋立ごみ質の検討を行うことが望ましい。
- ・維持管理と廃止を見据え、埋立方法を検討し、その際覆土と埋立物の性状や透水性を把握することが必要である。
- ・廃止後の下水道放流については下水道管理者及び地元と協議が必要である。

③今後のスケジュールについて

<委員意見等>

- ・埋立廃棄物層への雨水の浸透について、浸透を防止か洗い出しを促進か考え方を明確にし設計を進める必要がある。
- ・廃止のシナリオを想定した埋立計画や浸出水処理計画を提示してほしい。
- ・浸出水集排水管内（幹線）に自走式のカメラが入るような構造にすると管内の確認等が可能となり、維持管理上有効であるため検討する必要がある。